

2006年度(平成19年3月期) 中間決算 説明会資料

住友金属鉱山株式会社

2006年11月2日

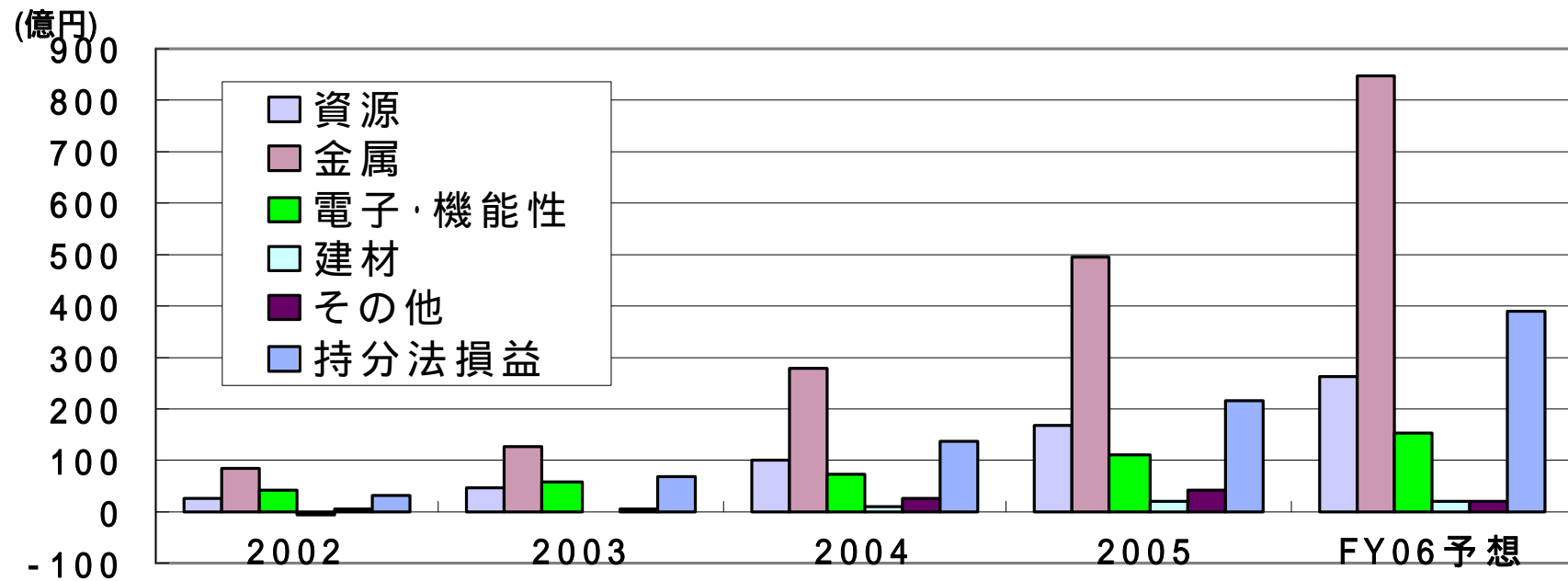
ページ	項目
3	・業績推移(02-06予想)
5	・価格・為替推移
11	・06/上 - 05/上比較
17	・06/下 - 06/上比較
22	・戦略プロジェクト等
30	・当社の課題

業績推移

(億円)

	2002	2003	2004	2005	06/上	06予想	中計06
売上高	3,552	4,021	4,846	6,256	4,605	8500	4,800
営業利益	166	228	479	828	797	1280	330
経常利益	166	278	545	997	952	1560	350
内、持分法投資利益	34	71	137	217	202	387	NA
当期(中間)純利益	12	199	370	628	614	980	250
ROA (%)	-	4.02	6.78	9.33	7.51	NA	NA
株主資本比率(自己資本比率)(%)	47.4	48.9	49.5	48.4	48.6	NA	40.0
D/E レシオ	0.69	0.59	0.57	0.51	0.52	NA	NA
銅 (¢ /lb)	92.8	92.8	136.1	185.8	337.5	304.8	90.7
ニッケル (\$/lb)	5.10	5.10	6.34	6.63	11.13	9.57	3.50
金 (\$/Toz)	377.6	377.6	414.0	476.6	624.8	612.4	320.0
亜鉛 (\$/t)	899	899	1,110	1,614	3,328	3,014	950
為替 (¥/ \$)	113.1	113.1	107.5	113.3	115.4	112.7	110.0

-2. 業績推移 (セグメント営業利益、持分法投資利益)



(億円)

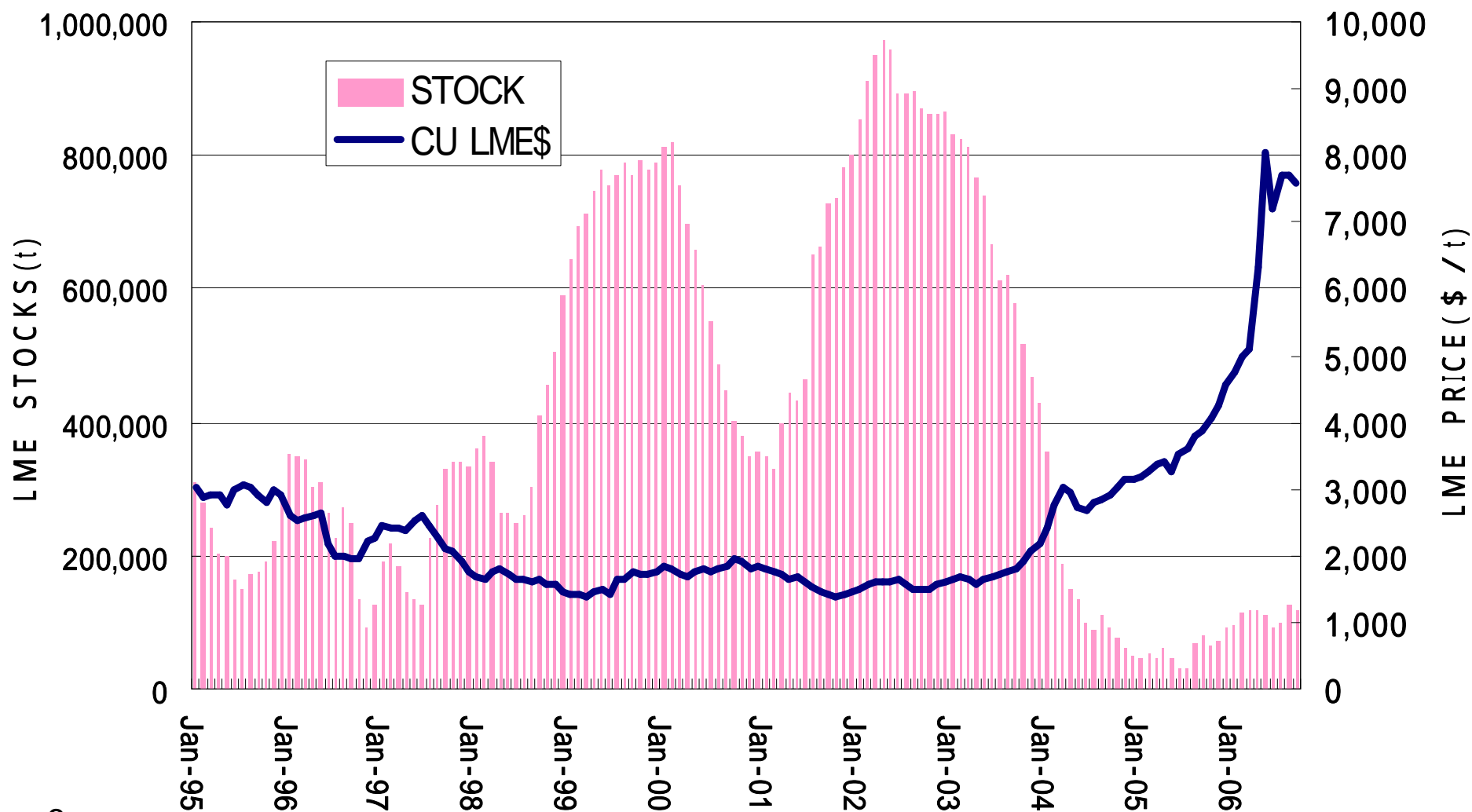
	2002	2003	2004	2005	FY06 予想	06/上
資源	27	45	100	171	265	159
金属	83	126	277	497	847	549
電子・機能性	41	56	73	112	155	81
建材	-4	0	12	21	19	10
その他	6	4	24	43	19	12
持分法損益	34	71	137	217	387	202

・ 価格・在庫、為替 推移

銅
ニッケル
金
亜鉛
為替

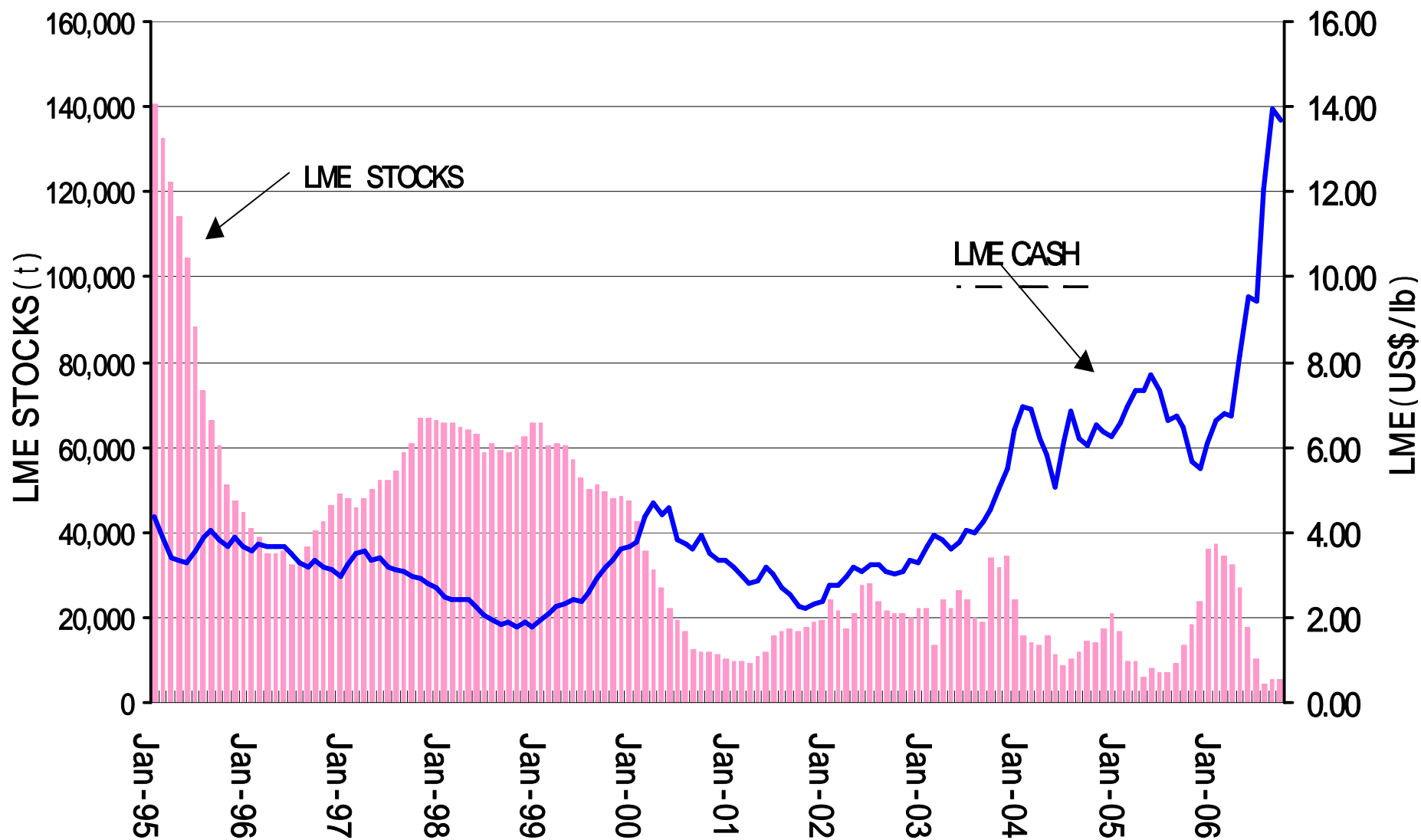
- 1 . 銅價格・在庫

	2004	05/上	2005	06/上	06予想
\$/t	3,000	3,574	4,097	7,440	6,720
\$/toz	136.1	162.1	185.9	337.5	304.8



-2. ニッケル価格・在庫

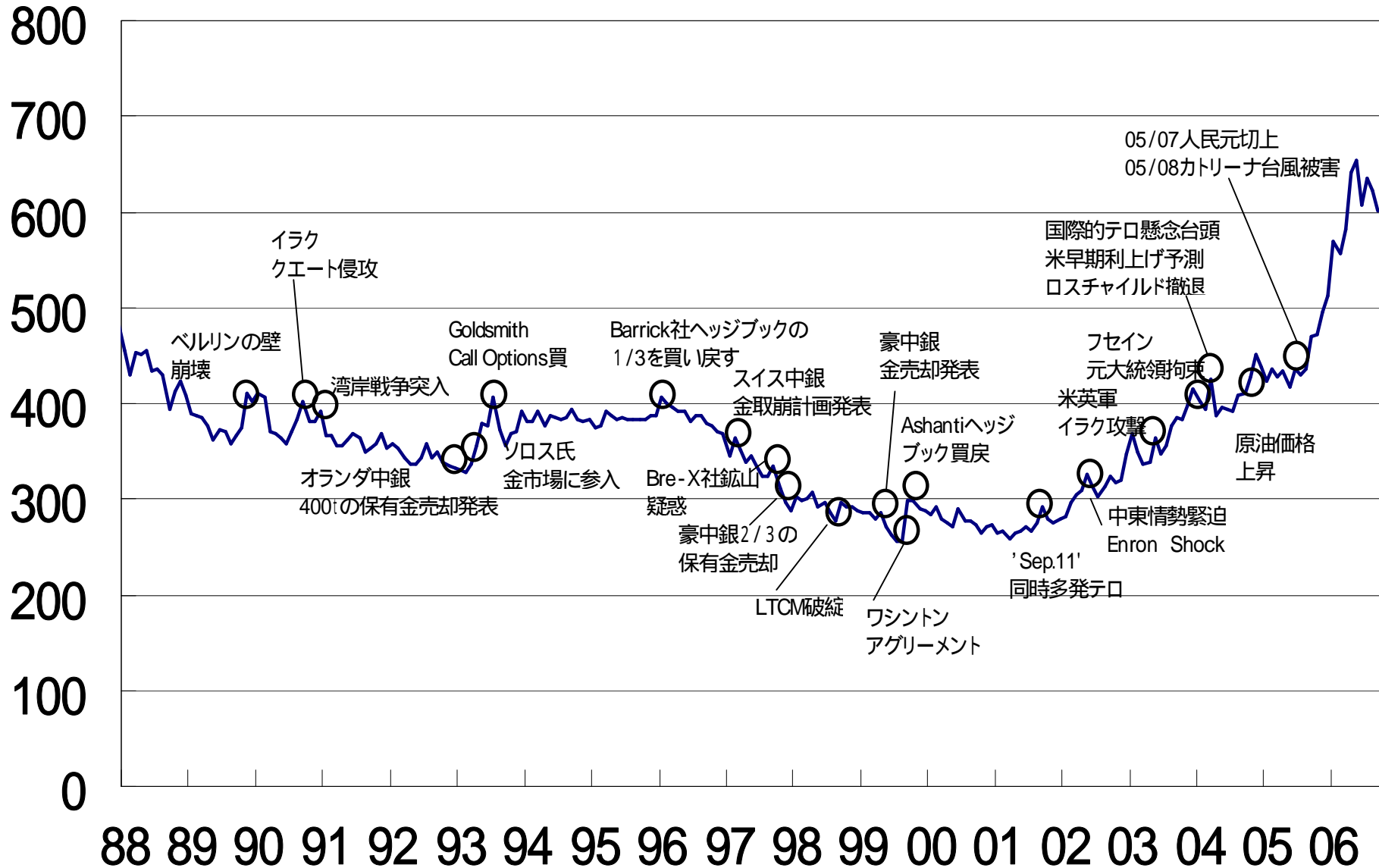
	2004	05/上	2005	06/上	06予想
\$/lb	6.34	7.03	6.63	11.13	9.57



-3. 金価格

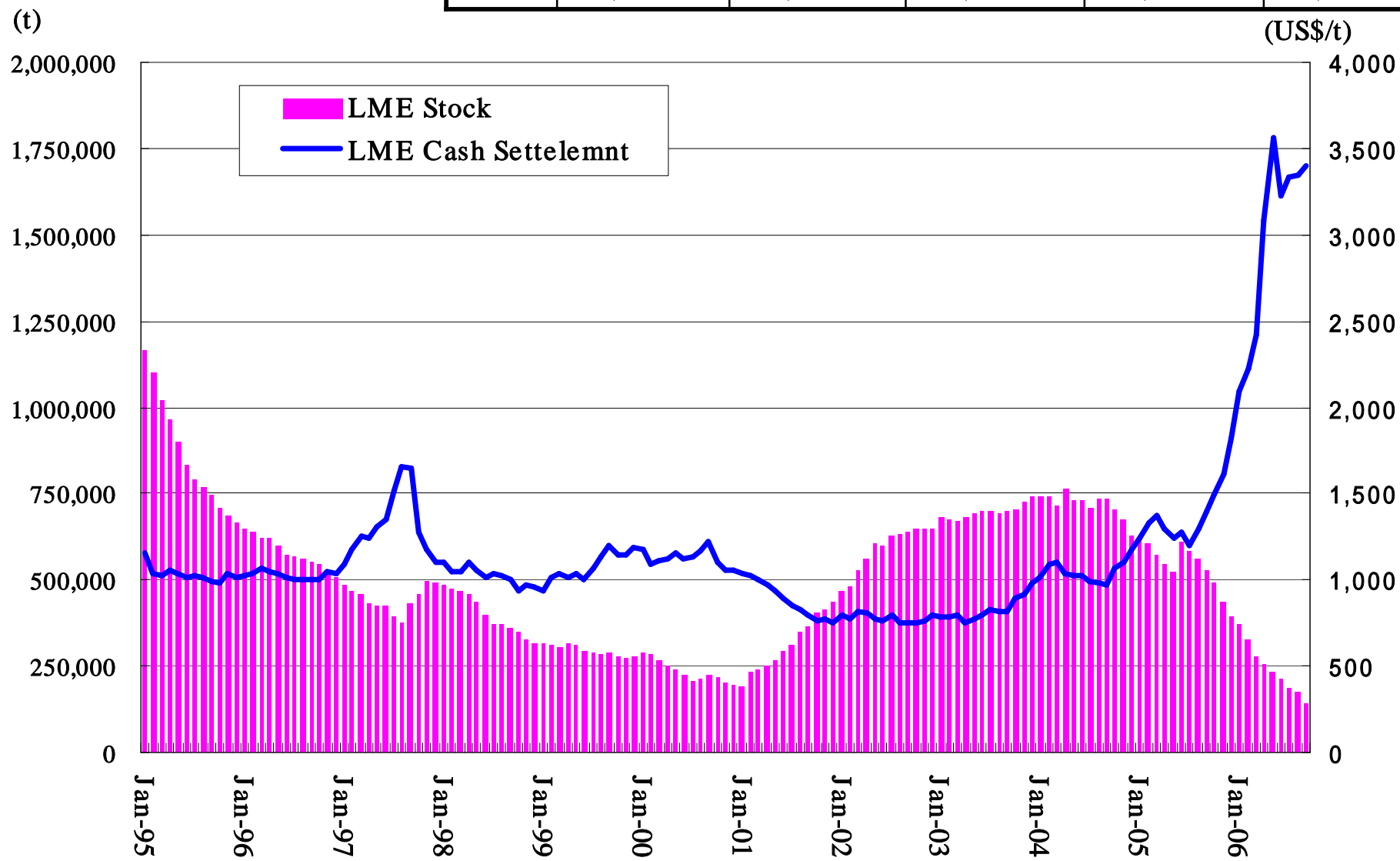
(\$ /Toz)

	2004	05/上	2005	06/上	06予想
\$/toz	414.0	433.4	476.6	624.8	612.4



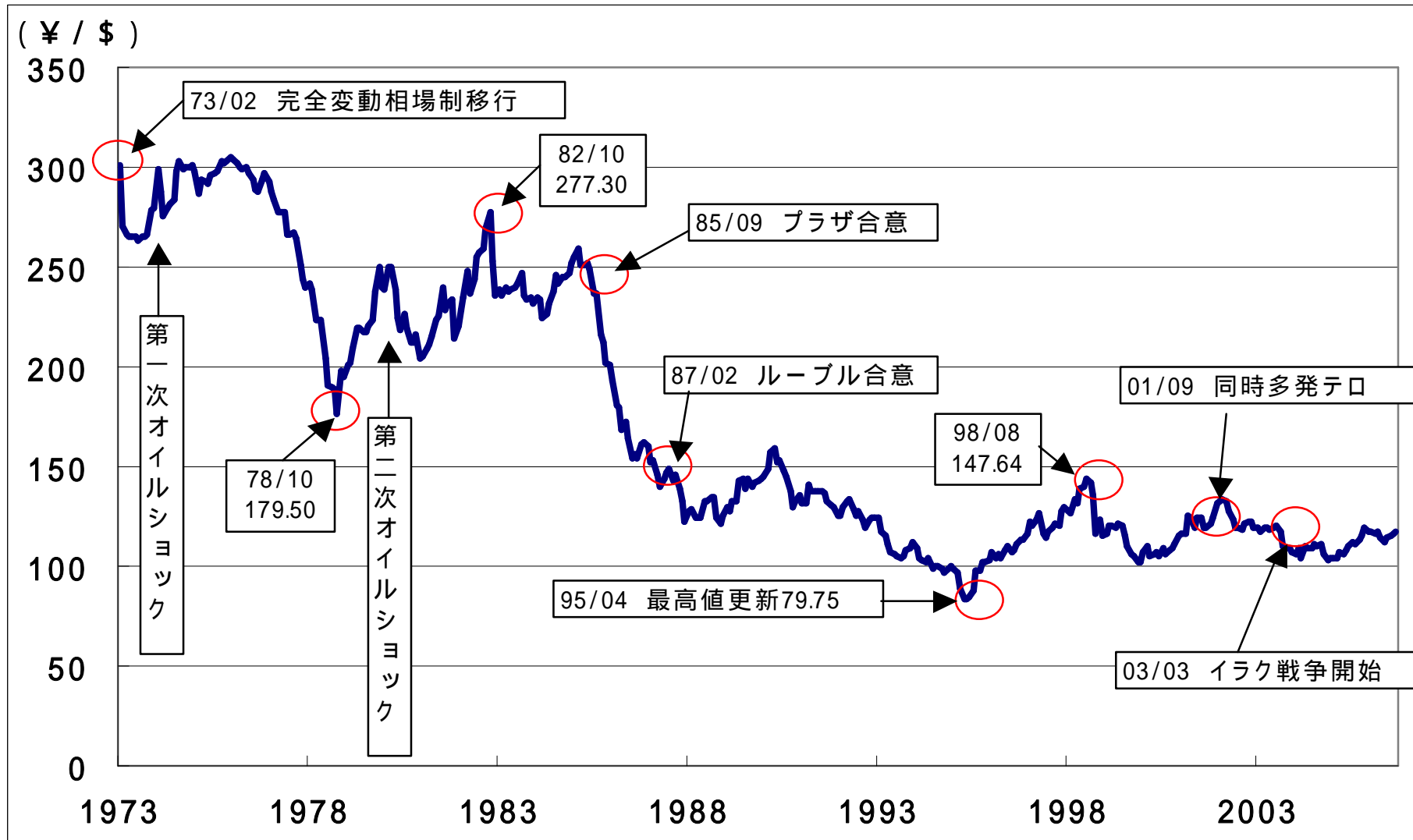
-4 亜鉛価格・在庫

	2004	05/上	2005	06/上	06予想
\$/toz	1,109.8	1,287.2	1,614.3	3,327.7	3,013.9



-5 為替相場

	2004	05/上	2005	06/上	06予想
¥/\$	107.54	109.47	113.32	115.38	112.69



・ 06/上 v s 05/上比較

- 1 . 連結業績
- 2 . 経常利益比較
- 3 . セグメント営業利益比較
- 4 . 財務体質の状況
- 5 . キャッシュフローの状況

-1. 連結業績

(億円)

	05/上	2005	06/上	06予想	中計06
売上高	2,720	6,256	4,605	8500	4,800
営業利益	293	828	797	1280	330
経常利益	367	997	952	1560	350
当期(中間)純利益	236	628	614	980	250
銅 (¢/lb)	162.1	185.8	337.5	304.8	90.7
ニッケル(\$/lb)	7.03	6.63	11.13	9.57	3.50
金 (\$/Toz)	433.4	476.6	624.8	612.4	320.0
為替 (¥/\$)	109.48	113.32	115.38	112.69	110.0

-2. 経常利益(06/上 vs 05/上)

経常利益 + 585億円 (952 367)

1. 相場要因 + 462億円

- | | | | |
|------------|----------|-----------|---------|
| 1) 非鉄金属相場高 | + 334億円、 | 2) 在庫評価影響 | + 115億円 |
| 3) 為替差 | + 32億円、 | 4) その他 | 19億円 |

2. 資源・金属プロジェクト効果 + 96億円

セロバルテ・オホスの権益取得、コラルハイ、電気銅増産プロジェクトの効果

3. 数量差(増販) + 13億円

海外銅鉱山などの増産・増販(プロジェクト効果は除外)

4. 物品費の高騰 11億円 原油価格上昇の影響など

5. 資源・金属以外の事業の業績伸張 + 36億円

- 1) 営業利益 +26
電子・機能性 +38 <機能性(主に2層めっき基板)伸長、パッケージ、FW、結晶など好調>
住建 1、その他 11 <モリブデン、バナジウム価格沈静化で廃触媒リサイクル減益>
- 2) 持分法損益(海外鉱山等以外) +10

6. その他 11億円

-3.セグメント営業利益 (06/上 vs 05/上)

(金額:億円)

<p>資源 +104</p>	<p>SMM(単独)の売上総利益+27(金価格upなど) アリゾナを中心とした海外鉱山会社+78(金属価格up、コストupあるが生産順調)</p>																																				
<p>金属 +385</p>	<p>SMMの売上総利(コラルハイ・ニッケルを含む) +389 (数量・プレミアム 価格・条件 為替 コスト 在庫評価影響 その他)</p> <table border="1" data-bbox="403 606 2038 782"> <tr> <td>銅事業 +242</td> <td>(</td> <td>25</td> <td></td> <td>125</td> <td></td> <td>13</td> <td></td> <td>72</td> <td></td> <td>7</td> <td>)</td> </tr> <tr> <td>ニッケル事業+122</td> <td>(</td> <td>3</td> <td></td> <td>59</td> <td></td> <td>14</td> <td></td> <td>43</td> <td></td> <td>4</td> <td>)</td> </tr> <tr> <td>その他 +25</td> <td>(</td> <td></td> <td></td> <td>24</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>)</td> </tr> </table>	銅事業 +242	(25		125		13		72		7)	ニッケル事業+122	(3		59		14		43		4)	その他 +25	(24		1)
銅事業 +242	(25		125		13		72		7)																										
ニッケル事業+122	(3		59		14		43		4)																										
その他 +25	(24		1)																										
<p>電子・機能性+39</p>	<p>電子市況は好調に推移。金属価格高騰による原材料費上昇はあったが、売上げ増で吸収し増収増益。全体が好調。 機能性材料は2層めっき基板で05年度に実施した設備増強により上期半ばまでの需要拡大に対応し増収増益。パネルメーカーの在庫調整の影響が終盤に現れた。</p>																																				
<p>建材 1</p>	<p>シボレックス(ALC)の販売価格改善。</p>																																				
<p>その他 12</p>	<p>使用済み触媒から回収するモリブデン、バナジウムの価格高騰が沈静化した。</p>																																				

-4. 財務体質の状況

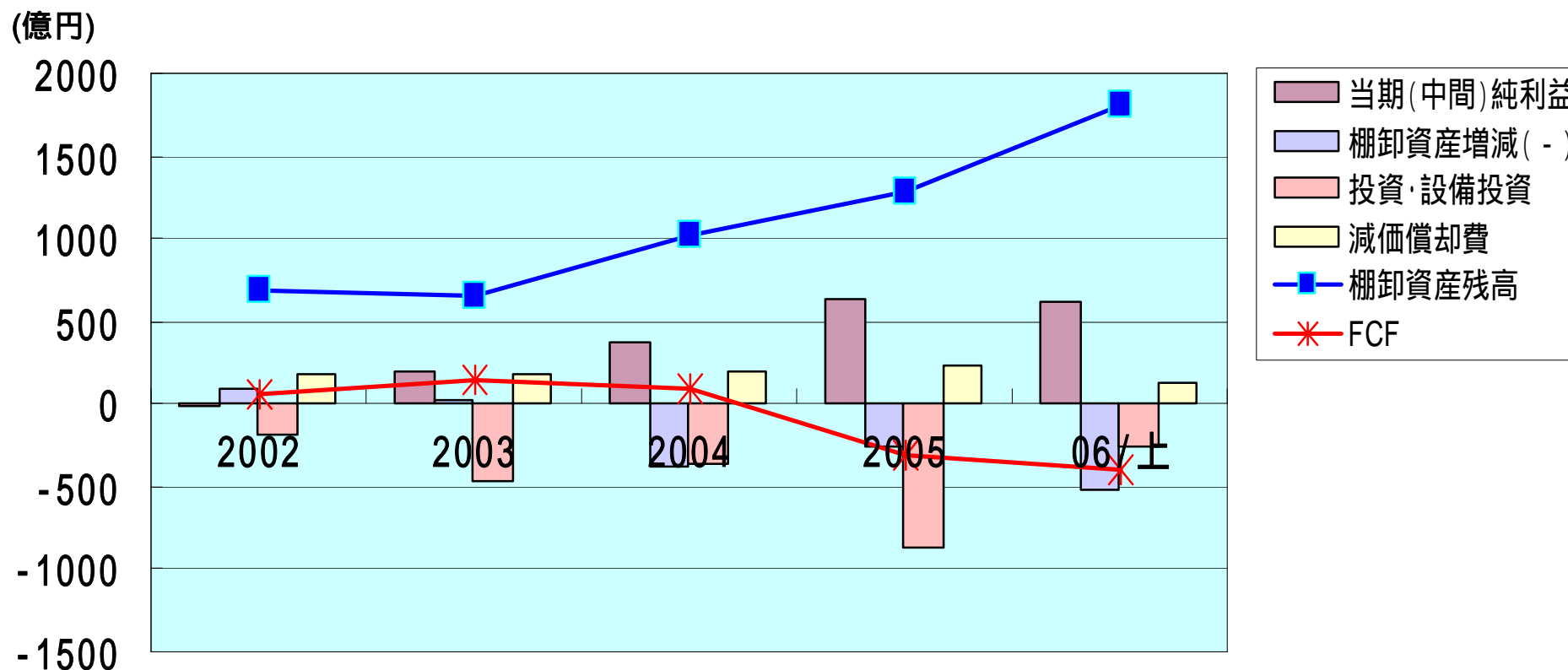
(億円)

	2004	2005	06/上	中計2006
総資産	5,739	7,726	8,624	5,850
有利子負債	1,605	1,909	2,237	1,650
有利子負債比率(%)	28.0	24.7	25.9	30.0
株主資本比率 (自己資本比率)(%)	49.5	48.4	48.6	40.0
D/E レシオ	0.57	0.51	0.52	
棚卸資産	1,028 *	1,289 *	1,809 *	

* 04 05の棚卸資産増加261億円は、当社(単独)金属での単価差による増加額301億円を含む。

05 06/上の増加520億円は同増加額357億円を含む。

-5. キャッシュフローの状況



(億円)

	2002	2003	2004	2005	06/上	2006予想
当期(中間)純利益	-12	199	370	628	614	980
棚卸資産増減(-)	97	30	-378	-261	-520	NA
投資・設備投資	-189	-465	-365	-878	-253	-584
減価償却費	183	178	206	230	122	272
棚卸資産残高	680	650	1028	1289	1809	NA
FCF	49	149	85	-316	-398	NA

. 06/下予想 vs 06/上

- 1 . 下期予想業績
- 2 . 経常利益比較
- 3 . セグメント営業利益比較
- 4 . 価格等感応度

- 1. FY06連結業績予想

(億円)

	06/上	06/下予想	06予想	中計06
売上高	4,605	3,895	8500	4,800
営業利益	797	483	1280	330
経常利益	952	608	1560	350
中間(当期)純利益	614	366	980	250
銅 (¢ /lb)	337.5	272.2	304.8	90.7
ニッケル (\$/lb)	11.13	8.00	9.57	3.50
金 (\$/Toz)	624.8	600.0	612.4	320.0
為替 (¥/ \$)	115.38	110.00	112.69	110.0

-2. 経常利益(06/下予想 vs 06/上)

経常利益 344億円 (608 952)

1. 相場要因 309億円

1) 在庫評価影響 251億円

先入先出法における、金属価格低下の影響

2) 非鉄金属価格差 19億円

3) 為替差 23億円

4) その他 16億円

原料・販売条件差 6、デリバティブ評価損益 + 10、為替差損益 20

2. 資源・金属プロジェクト効果 +11億円

コーラルバィプロジェクトなどによる増益効果。

3. その他 46億円

数量差(増販) + 29、既存事業 30(資源・金属(要因分析外) 5、電子・機能性(2層めっき基板への液晶在庫調整影響など) 7、建材 1、その他 5(Mo、V価格)、持分法会社 11)、その他 45(海外鉱山QP差損など)

注. 上記全体で、持分法投資利益は 17億円 (185 202)

同、減価償却費増の影響は 28(150 122)

-3.セグメント営業利益 (06/下予想 vs 06/上)

(億円)

資源 53	SMM (単独)の売上総利益 4、 アリゾナを中心とした海外鉱山の悪化 49
金属 251	SMMの売上総利益(コラルハイ・ニッケルを含む)減 250 (数量・プレミアム 価格・条件 為替 コスト 在庫評価影響 その他) 銅事業 230 (41 10 2 183 6) ニッケル事業 13(14 41 8 1 64 3) その他 7 (3 4)
電子・ 機能材 7	2層めっき基板を厳しく見たこと、STF 終結などにより減益。
建材 1	
その他 5	使用済み触媒からリサイクルするモリブデン、バナジウム価格ダウンなど

-4. 価格等 感応度

(億円)

		FY2005	FY2006
銅	+10 ¢ /lb	21 / 30	25 / 35
ニッケル	+10 ¢ /lb	6 / 8	6 / 8
金	+30\$/toz	8 / 8	10 / 10
為替	+1 ¥/\$ (円安)	5 / 5	5.5 / 5.5

数値表示は、「営業利益 / 経常利益」

06年の金は、Pogo金鉱山の電力事故の影響を織り込み、年度初めよりも縮小。

・ 戦略プロジェクト等の状況

- 1 . 銅45万トン体制
- 2 . セロベルデ銅鉱山開発
- 3 . コーラルベイニッケルプロジェクト
- 4 . コロニッケルプロジェクト
- 5 . ポゴ金鉱山開発
- 6 . 2層めっき基板

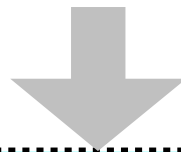
1. 東予工場(銅製錬工場 愛媛県)



2003年度(本中期経営計画策定時)
300 kt/Y体制



2005年度 365 kt/Y体制



2006年官休(10/30~11/27)で増強
410 kt/Y体制

2007年度以降 450 kt/Y体制へ

総投資額:約290億円

2 . Cerro Verde銅鉍山 (Peru)

2005年3月、Phelps Dodge社と契約。 住友の権益21% (うちSMM16.8%)

硫化鉍開発プロジェクトが予定通りに進捗中



総投資額 850百万ドル (日本側265百万ドル)

生産量 180kt/Y (銅量換算)

銅精鉍引取り権

当初10年間: 生産量 × 50% (90kt/Y (銅))

生産開始予定 2006年年内

自山鉍比率 (セロベルデ鉍受入れ開始後)

当社が権益を保有する鉍山からの精鉍で6割強

(03中計での考え方)

当社権益割合見合いの精鉍量に限定すると2割強

3 . Coral Bay ニッケルプロジェクト (Philippines)

豊富な低品位酸化亜鉛からのニッケル回収に成功。 SMM権益 54%



総投資額 180US\$ mil.

生産能力 10kt/Y

2005年4月 商業生産開始

2005年11月 設計能力での生産を達成



2006年生産計画10kt/Y

上期実績4kt、年度予想8kt
亜鉛石性状のため減産。

第2系列の建設に着手

(計画生産量10kt/Y、09年4月操業予定、起業費285百万ドル)

Coral Bayに続く新規プロジェクトへの展開

4 . Goroニッケルプロジェクト (New Caledonia)

2005年4月、Incoと契約。 日本側権益21% (SMM 11%、三井物産10%)



総投資額 1,878百万ドル

生産量 約60kt/Y

生産開始予定 2007年10-12月期

現在の状況

現地ゼネスト等の影響もあるが、モジュール搬入等、建設工事進捗中。 生産開始時期、投資額は変動ありえる。

CVRDによるInco買収あり。

5 . Pogo金鉱山 (米国アラスカ) SMM権益 51%

開発投資額 378百万ドル (フィルタープレス増設込み)

推定埋蔵金量 152t

操業開始 2006年2月

生産量 12t/Y (生産期間中の平均)



現在の状況

尾鉱フィルタープレス増設等工事中

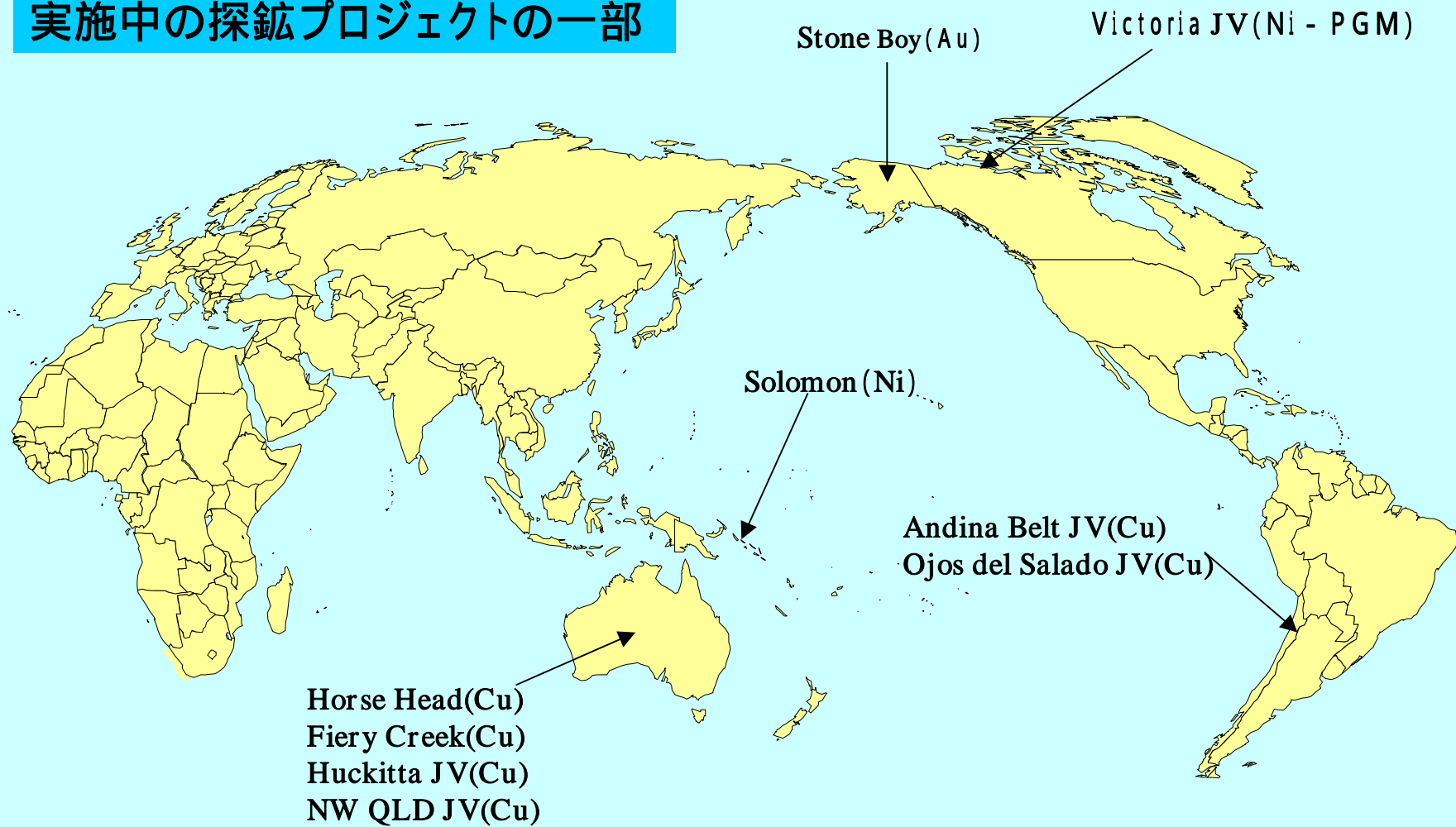
同工事中に電力施設焼損事故発生。移動式発電機等により構内採掘の一部と上記工事を再開した。鉱石処理設備の操業再開は、電力設備復旧見込みの年末以降と予想。下期影響額20億円織込み。

周辺探鉱継続中

さらなる資源確保へ

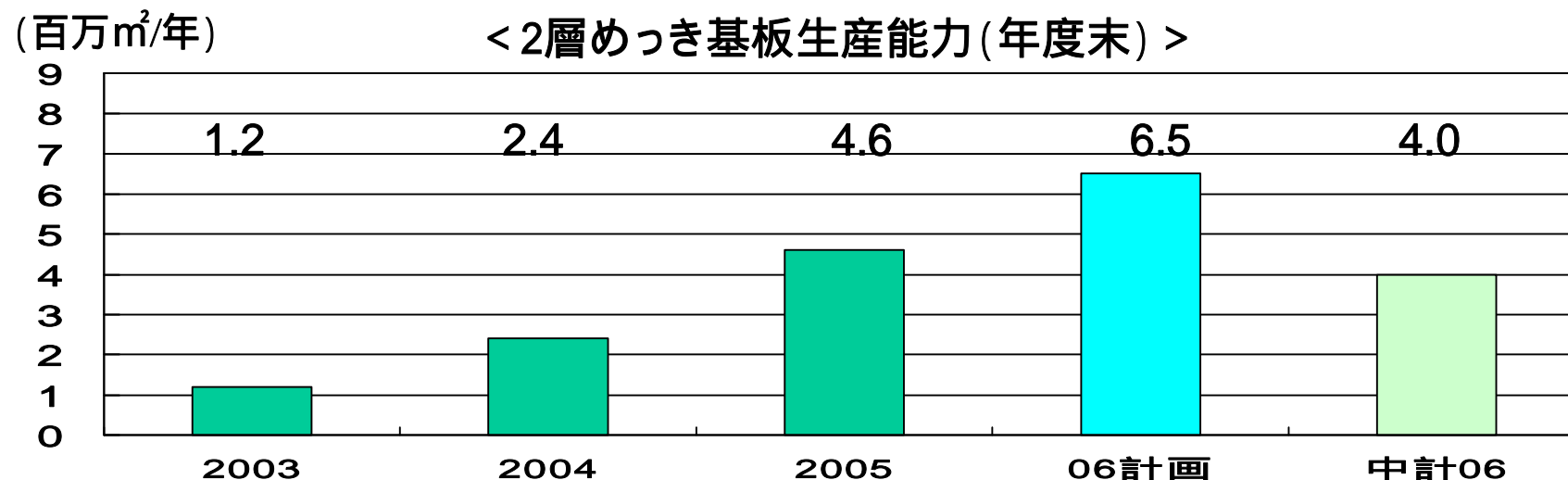
	05年度	06年度
探鉱費	15億円	22億円

実施中の探鉱プロジェクトの一部



6. 2層めっき基板の増強

大型液晶向けCOF材料市場に上期終盤から在庫調整の波。液晶市場の調整は終了。エッチャーの一部で年末まで継続。当社市場シェアは9割近くを維持。今後も成長が期待できる市場であり、計画通りの増産投資。



その他電子材料・機能性材料も順調

電池材料 HEV向けが順調な伸び。次世代材料も推進中。

電子材料 リードフレーム、ファインワイヤ、ペースト等全般に順調。

・ 当社の課題

- ・ 03中計 戦略プロジェクトの完遂
数量達成 コストダウン
- ・ 資源(原料)寡占化への対応
- ・ (電子・機能材)新製品開発の一層の促進
- ・ フリーキャッシュフローの確保

ご注意

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。